

# 障害者の就業に関する意識調査

社団法人 大阪ボランティア協会  
株式会社 住信基礎研究所

昨年、ボランティアセンターの社団法人大阪ボランティア協会（理事長 柴田義守氏 故人）と民間シンクタンクの株式会社住信基礎研究所（社長 井上孝男氏）は共同で障害者の就業に関する意識調査を実施しました。プロップ・ステーションはこの調査に協力しました。

## 1. 調査実施の経緯

社団法人大阪ボランティア協会は、1991年10月に（財）日本生命財団と協力して企業市民活動推進センターを設立しました。センターには、企業から障害者雇用に関する問い合わせが多数あり、障害者の就業に関する意識を調査する必要性が高まっていました。一方、住信基礎研究所では、地域ケアサービスに関する調査を進めており、その調査の一環として、障害者の就業に関する意識調査を組み入れていました。そのため、両者は共同で、障害者の就業に関する意識調査を実施することになりました。

## 2. 調査方法

調査対象は15～64歳の重度身体障害者で、主要な障害者団体の会員に対して留置記入法によりアンケートを実施し、有効回答数243を得ました。調査期間は1992年10月15日～10月31日です。調査の体制としては、アンケートの発送・回収を大阪ボランティア協会、プロップ・ステーションが実施し、アンケートの設計、分析は主に住信基礎研究所が実施しました。

## 3. 質問内容（抜粋）

就職したいと思いますか。1つだけお選びください。

- ①何とか努力して就職したい。②チャンスがあれば就職したい。③今のところ就職は考えていない。

あなたの希望する職種をお知らせください。最高3つまでお選びください。

- ①コンピュータ関連技術職 ②その他専門・技術職 ③管理職 ④事務職  
⑤販売職 ⑥サービス職 ⑦保安職 ⑧運輸・通信職 ⑨技能・建設・労働職

あなたの希望する業種をお知らせください。最高3つまでお選びください。

- ①農林水産業 ②鉱業 ③建設業 ④製造業 ⑤電気・ガス・水道業  
⑥運輸・通信業 ⑦卸売・小売・飲食業 ⑧金融・保険業 ⑨不動産業  
⑩情報関連サービス業 ⑪その他サービス業

あなたが企業に就職する場合、企業側にどんな準備を求めますか。

あてはまるものすべてをお選びください。

- ①職場の建築的配慮 ②障害者用コンピュータ機器の設置  
③介護機器の導入 ④介助者同伴の許可（盲導犬等も含む）  
⑤移動等の介助費用の負担 ⑥就業時間の臨機応変な対応（勤務時間、休暇、出勤日）  
⑦在宅勤務の導入 ⑧職場における実践的な職業訓練  
⑨研修施設等で行う基礎的な職業訓練 ⑩一般社員に対する意識啓発  
⑪その他

あなたは、就職を実現するために、どんなサポートサービスがほしいですか。

あてはまるものすべてをお選びください。

- ①移動やコミュニケーション等の介助サービス
- ②介助機器等のレンタル
- ③障害者を受け入れる専門学校等教育機関、教育サービスの充実
- ④企業に一時的に障害者を送り込んで実施する研修サービス
- ⑤障害者と企業の情報交流を促進するサービス（書籍、交流会、セミナーなど）
- ⑥障害者を主とした人材バンク
- ⑦障害者関連の就職情報誌
- ⑧障害者関連の就職情報通信ネット
- ⑨就職後の相談等アフターケア
- ⑩住宅の斡旋
- ⑪その他

上記のサービスを1つの窓口で総合的に扱う、障害者の就労に関わる総合サービス施設の必要性はどの程度と考えますか。1つだけお選びください。

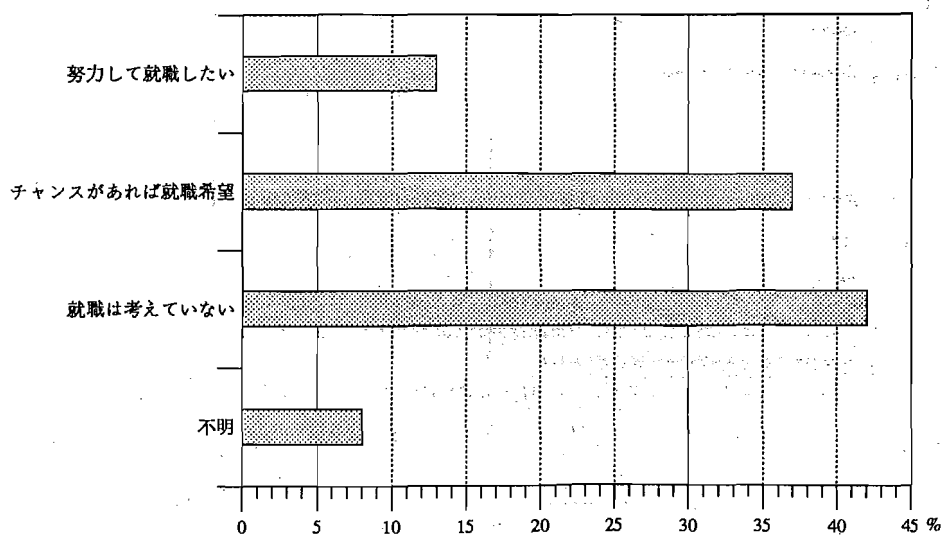
- ①必要性は非常に高い
- ②必要性は高い
- ③どちらとも言えない
- ④必要性は低い
- ⑤必要性は非常に低い



#### 4. 調査結果

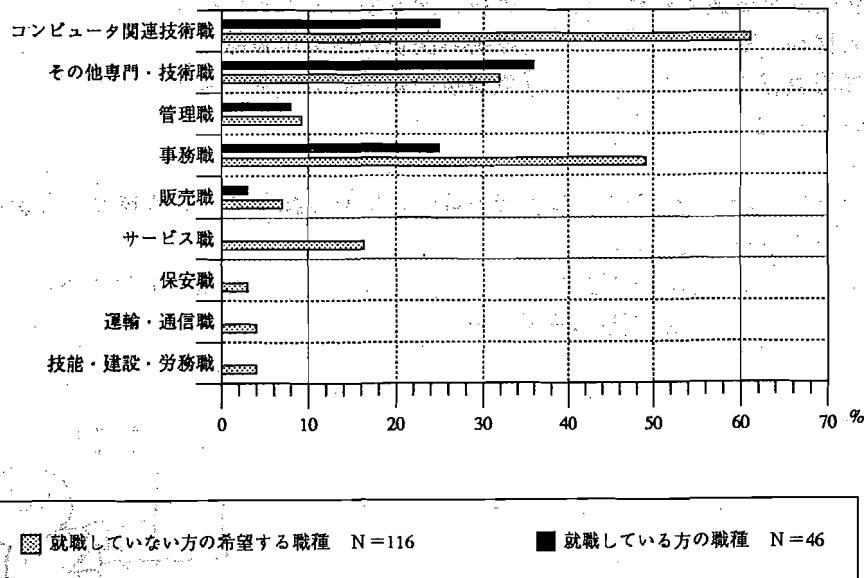
##### 1) 現在就職していない重度身体障害者の就職意向

本調査の対象は、現在でも一般企業が雇用の対象としてみることの少ない重度身体障害者です。彼らの内、現在就職していない重度身体障害者の50%もの人は、就職を希望しており、彼らの職業的自立への意識の高まりが伺えます。なお、就職を考えていない人は、約40%存在していますが、これは別に実施したインタビュー等によれば障害の重さと日本の就業環境の現状から諦めている面が多いと推測されます。



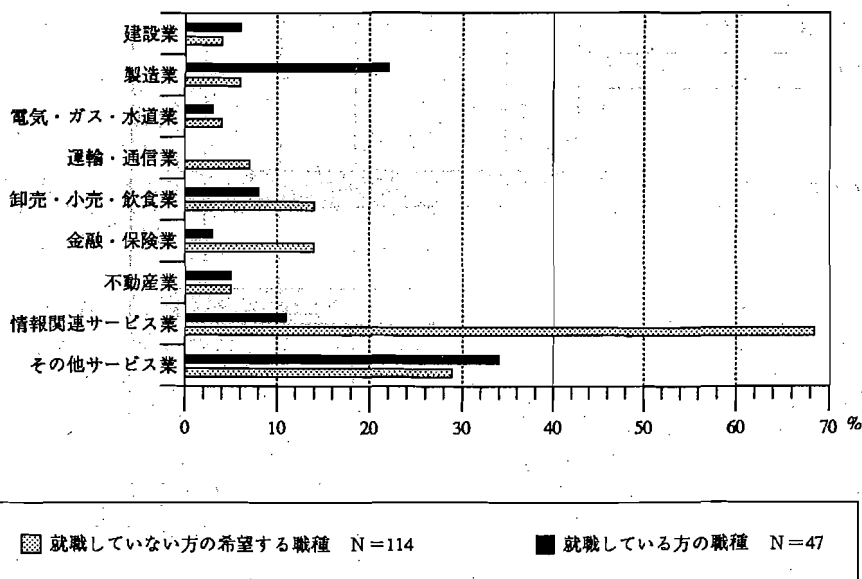
## 2) 重度身体障害者が希望する職種

重度身体障害者の希望する職種は、コンピュータ関連の技術職、ついで一般の事務職に集中しています。実際に就職している障害者の職種をみると技術職、事務職に集中していますが、コンピュータ関連に特に集中しているわけではなく、今後この分野の職種の開拓が求められます（障害者の能力向上と就業環境の整備）。



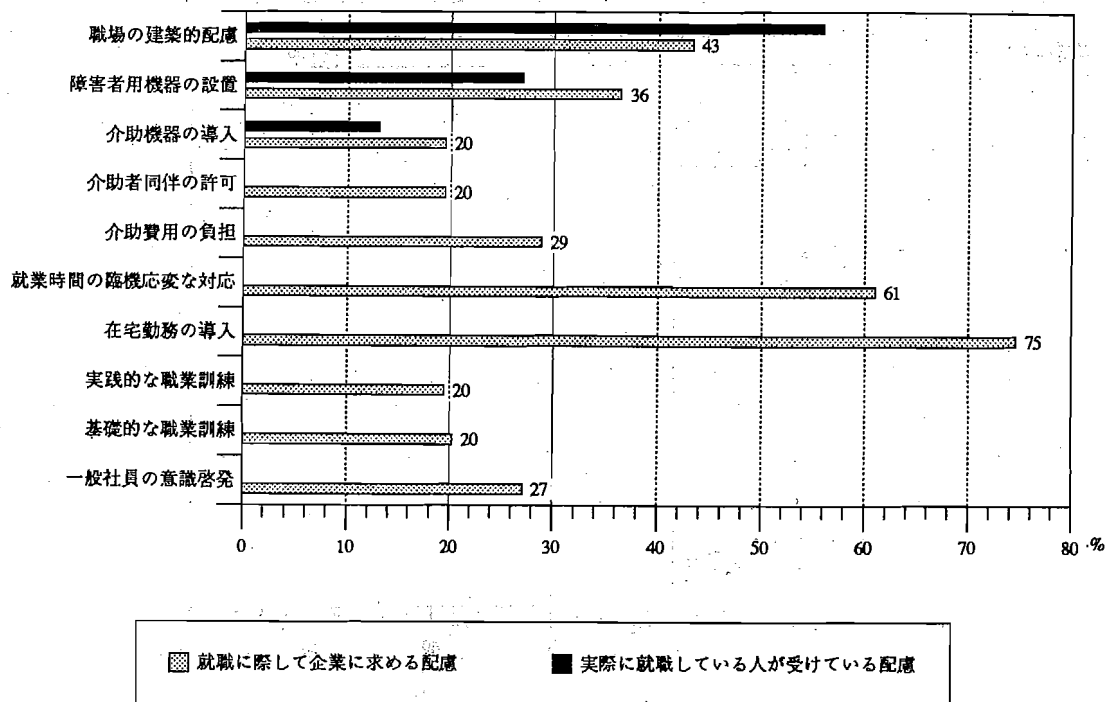
## 3) 重度身体障害者が就職を希望する業種

職種と同様に、情報関連サービス業（コンピュータ関連）への就職の希望が集中しており、この分野に就職の期待が高いことがわかります。ただし、実際に就職している障害者の就職先をみると情報関連サービス業に就職している人は10%程度に過ぎません。このことから、この分野に関する障害者の能力向上と就業に関わる環境整備が必要なが伺えます。



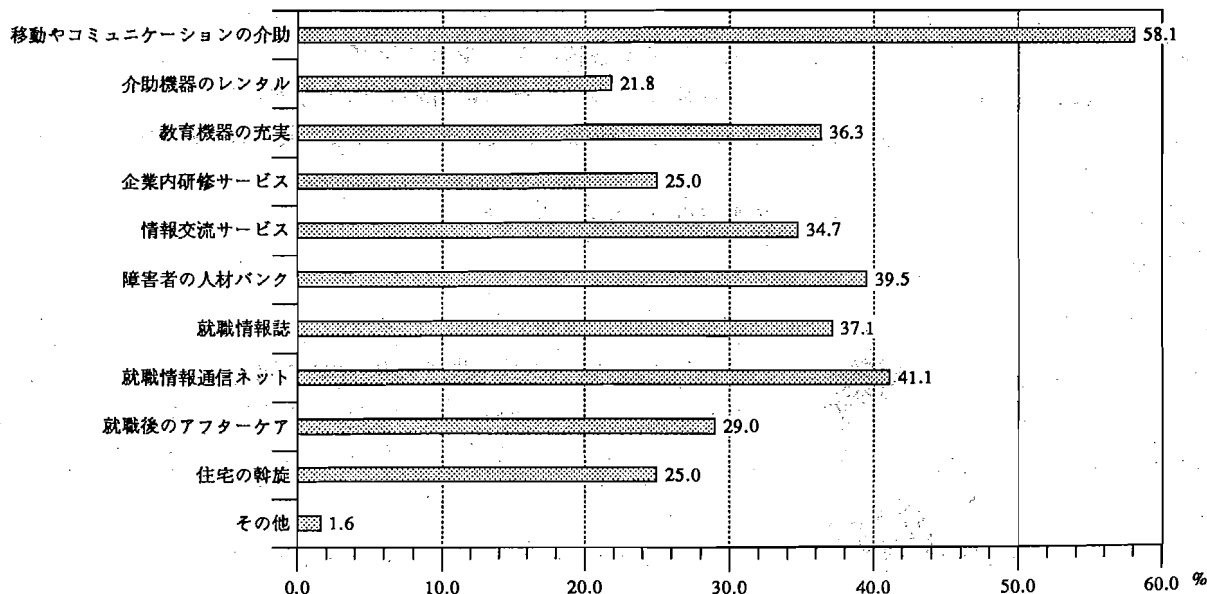
## 4) 重度身体障害者が就職に際して企業に求める配慮

重度身体障害者が就職する際に企業に求める配慮は、在宅勤務、就業時間の臨機応変な対応など移動に対するハンディを補う勤務形態を強く求めています。一部民間企業では、重度身体障害者の在宅勤務による雇用を開始していますが、全体からみれば極めてまれなケースです。今後このようなフレックスな就業形態が強く求められると考えられます。



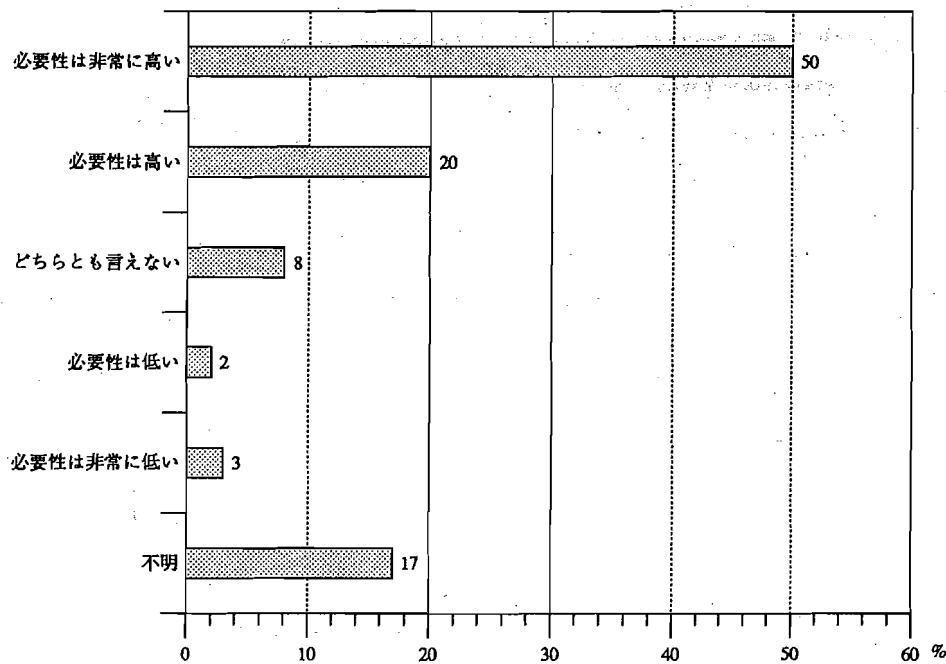
## 5) 重度身体障害者が就業を実現するために求めるサポートサービス

重度身体障害者が就業を実現するために求めるサポートサービスは、移動やコミュニケーション等の介助が最も多く、ついで就職情報通信ネットなど就業に関わる情報提供関連サービス、さらに教育機関などに対するニーズが高くなっています。重度身体障害者の就業を支えるサービスは、介助、情報、教育が大きな柱であると言えます。一方、企業側のニーズとしては、別に行った民間企業数社の人事担当部門へのヒアリング調査から、現在障害者に対して実施されている教育に問題点を指摘する声があり、コンピュータ・情報関連など企業のニーズにあった教育の実施が必要であると考えられます。



## 6) 障害者の就業に関わる総合サポートサービス施設の必要性

現在、障害者に関わるサービス窓口は多岐にわたっています。そこで、上記の障害者の就業に関わる種々のサポートサービスを1つの窓口で扱う総合サポートサービス施設の必要性を尋ねてみると70%の人が必要と考え、しかも50%の人は非常に必要が高いと考えていることがわかりました。



## 5. 重度身体障害者の就業に関しての提案

本調査の結果から、今後重度身体障害者の就業を促進するためには、下記に示すような障害者就業総合サポート施設が必要と考えます。従来この種の施設は行政の福祉施設として位置づけられていましたが、就業を推進していくためには民間企業のニーズを十分に反映していく必要があり、民間が積極的に参画した官民共同の運営形態をとる必要があると考えられます。

## ● 障害者就業総合サポート施設が提供するサービス

- ・ 在宅、通勤、社内での各種介助サービスの提供
- ・ 人材紹介、人材情報の発信
- ・ 障害者雇用に関して、障害者本人及び企業に対する各種コンサルティング
- ・ 職業訓練・教育、企業内職業訓練（障害の種類と企業のニーズに対応した教育内容）
- ・ 物理的な問題から自社事業所で障害者雇用に対応できない企業に対して就業の場の提供（障害者用共同サテライトオフィス）
- ・ 在宅勤務等をサポートする機器のレンタル（介護機器、情報機器）
- ・ 住宅の斡旋 等



※ 本件に関する問い合わせ先：

㈱住信基礎研究所 大阪研究本部  
〒541 大阪府中央区今橋4丁目3-18  
担当：榎原

労働省雇用情報センターの統計月報5月号に、今回の調査が紹介されました。

### 重度障害者の半数は就職を希望

(財)大阪ボランティア協会・(株)住信基礎研究所  
「障害者の就業に関する意識調査」(92年10月調査)

一般企業がこれまで雇用対象としてみることの少なかった重度障害者だが、未就職重度障害者の半数が就職を希望。就業的自立への意識が高いことが分かった。希望の職種は、コンピュータ関連の技術職と一般の事務職に集中。現在就職している人の職種は技術職、事務職が中心だが、コンピュータ関連は少なく、今後この分野の職種開拓が課題である。

また、就職に際して、重度障害者は在宅勤務など移動に伴うハンディを補う勤務形態を企業に強く求めている。就業実現の支援サービスでは介助、就職情報、教育が大きな柱。レポートは、これらを一つの窓口で取り扱う官民共同運営の総合施設を提案している。



## 支 え 合 う 関 係。

昨年9月に会ってから、プロップ・ステーションとスカイ・シンク・システムはなにかとお付き合いをするいい関係。

いままでも、そしてこれからも。

スカイ・シンク・システムは、コンピュータを通して社会に貢献し続けます。

CAI & AVCS (ハード/ソフト)

企画・設計・開発・販売

CAI

PC-98 / Macintosh  
各種学校用システム  
視聴覚教室

AVCS

映像化店舗/防災PA  
ビデオスタジオシステム

\*公立高校導入実績多数あり

THINK

スカイ・シンク・システム株式会社

〒532 大阪市淀川区西中島5-8-3 新大阪サンアールビル北館

電話 06-390-6371 FAX 06-390-6373

# うちやま ゆきひさ 内山 幸久氏 訪問記

訪問者 坂上 正司（ハンドルネーム「うめ吉」）  
竹中 ナミ（ハンドルネーム「ナミねえ」）

5月16日（日）東京都大田区西蒲田にある、重度  
頸髄損傷者自立リアリティ・モデル・ルーム「マ  
ウンテン・ペンギン」の主、内山幸久さん（30  
才）のお宅を訪問しました。

内山氏は、重度障害者の自立のための研究会  
「ネットワーク・コンソーシアム」の発足メン  
バーであると同時に、研究会の構想を具現化する  
ために設立した有限会社ネットワーク・コンソー  
シアムの代表取締役でもあります。

自分の障害を「負」ととらえるのではなく、自分  
自身を研究対象として重度障害者の自立に役立つ  
開発を行おうという、非常にアクティブな発想に  
魅かれ、（予算もないのに）一路大阪から東京へ  
向かった「ナミねえ」と「うめ吉」のく美女  
（???：編集部）と野獣（うんうん：編集部）  
>コンビ。

はてさて、どんな訪問記となりますやら・・・  
（ナミねえ）

\* \* \* \*

実は、うめ吉は一日前に既に東京に潜伏してい  
たのだった。

前日、「ひかり」よりコンパートメントが狭い  
「のぞみ」に乗って東京入りしたうめ吉は、目立  
たぬように、その日行われていた全国頸髄損傷者  
連絡会の20周年記念大会に紛れ込んでいた。豊臣  
秀吉が木下藤吉郎と呼ばれていた頃、ではなくブ  
ロップ・ステーションが「設立準備委員会」と呼  
ばれていた頃、全国頸髄損傷者連絡会にはいろい  
ろとご協力をいただいていたので、潜り込むのは  
そう難しくはなかった。

東京駅到着後、うめ吉は電光石火で「東京ぶら  
りing」グループに紛れ込こんだ。餅は飴屋、弘法  
も筆卸の誤り、取らぬ狸も棒に当たるのたとえ通  
り、電動車いすは車いすの中に隠れるのが一番で  
ある。皇居、日比谷公園、有楽町、銀座、新橋、  
芝公園、東京タワーという観光の要所で諜報活動  
を終えたうめ吉は某ホテルへと忍び込んだ。

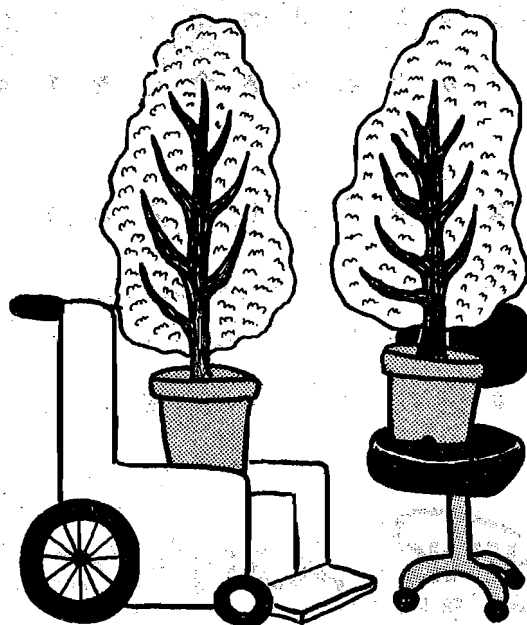
翌日、つまり、本文の取材の当日、某ホテルで  
はFLANKER 1号で紹介をさせてもらった朝日新聞  
論説委員の大熊由紀子さんの記念講演があったの

だ。前日からの東京潜伏の主な目的は、この講演  
を聞くことに尽きるのだった。しかし、前日の飲  
み過ぎが祟ったうめ吉は、半分以上寝ていた。

気が付けば、ナミねえが到着していた。カラー  
タイマーが赤に変わり点滅しだした。東京工作員  
の茶飯事と接触する時刻が迫っている。うめ吉  
は、目の前にうず高く積まれた幕の内弁当に口を  
付けることなく、ナミねえに耳たぶを引っ張られ  
てその場を去らなければならなかった。

ホテルを出ると、茶飯事が差し向けたと思われ  
る車が止まっていた。運転手と合言葉を交わし仲  
間であることを確認したうめ吉は、ナミねえと共  
に茶飯事宅へ向かうのであった。

（コードネーム：うめ吉）



うめ・ナミ お初にお目にかかります。プロップ・ステーションの坂上・竹中と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

内山氏 あ、坂上さんも電動（車いす）ですね。メーカーは？

うめ吉 僕のは「スズキ」です。内山さんののは・・・

内山氏 「イマセン」です。僕は付属物をいっぱい付けるので、個別対応が親切な「イマセン」が便利なんです。なにしろ、この電動を導入した6年前、夕方6時頃に来た担当者がセッティングしながら食事介助までしてくれて、付属物のハンダづけなんか終わった時は、夜中の2時になってました。

ナミねえ いきなりの盛り上りですねー。実は今日、訪問させて戴いたのは・・・

内山氏 何キロ出るんですか？

うめ吉 時速ですか？これは6キロです。

内山氏 良いなー、僕のはリクライニングなんです。4.5キロなんです。やっぱり6キロは乗り心地が違うんでしょうね。

うめ吉 乗り心地というより、やはり便利ですよ。大きな交差点なんか、4.5キロだと渡り切れない事があるんですけど、6キロは余裕ですよ。

あ、僕のもリクライニングですけどね。全国で6キロ出るリクライニング電動は3人しかおらんそうです。

内山氏 でも、ここらへんは外出しても道は「カマボコ」（道路の端っこが傾斜してること）やし、デコボコばかりですから、スピードどころじゃないですけどね。

ところで坂上さんは太ももに固定ベルトをしてるんですね。珍しいなー。

うめ吉 僕は放っておくと足が開いてしまうタイプなんで、それを防止するのと全身がズレるのを防ぐのとで、ここを留めてるんです。内山さんも少し開いてますねー。

内山氏 あ、これは単なる「ガニ股」です。(M)

ナミねえ (むむ、無理矢理でも話題に加わらねば・・・)

あの、拝見したところ内山さんの使っ

内山氏

てらっしゃる座布団は、うめ吉と同じですね。このタイプは褥そう（床づれ）予防に効くんですか？

「ROHO」（ロホ）のマットなんですけどね、これは良いですよ。

3年前これを使い出してから、5～6時間以上車いすに乗って、パソコンやワープロを打っていただけるようになりました。ただし、高かったですけどね。たしか7～8万円しましたよ。

うめ吉

僕は助成金を使って買ったんですけど、定価はたしか7万円やったと思います。この「ROHO」を清家さん（福岡県・重度四肢まひ者の就労問題研究会を主宰）がアメリカから導入したのは、やっぱ大きな事でしたよね。

ナミねえ

画期的な製品なんですね。

内山氏

褥そうで寝てるっていうのは、頭を空っぽにしないとつらいんですよ。

動けないし、風呂にも入れない、ひたすら乾くのを待ってるという・・・

僕の褥そう予防はもう一つ、サンケンマット製のジャッキアップ・タイプの「エアマット」です。これは実に良い！このメーカーのは1分間に1リットルのエアが出るんですよ。

うめ吉

僕も受傷して入院してる時に使ってたけど、12年も前のことで、コンプレッサーの音がうるさくってやめました。

内山氏

これは静かですよ。マットも進化していく。(M)

ナミねえ

コンプレッサーを使ったら、やはり故障とかありますか？

内山氏

サンケンは修理の間、代わりのマットを貸してくれるんです。購入の時も、僕の体に効果があるかどうか、聞き取りを充分してくれました。信頼してます。

ナミねえ

天井にリフトも付いてますね。

内山氏

電動ホイストです。天井走行式リフターというんです。車いすへの乗り移りや浴槽への移動に使ってます。

ナミねえ

うめ吉んともリフト付いてるけど、形がかなり違うね。

うめ吉

ははは・・・あれは石や木を運ぶチェーンブロック。僕の家は植木屋だからね。親父と我が家専属の工務店が工夫して室内用に変えたんよ。なん



せ、僕が受傷した頃は障害者用の電動ホイストなんて、あらへんかったもん。

ナミねえ 見回すと、この室内は「自立リアリティ・モデルルーム」というだけあって、様々な改造がされてますね。

内山氏 父が町工場の大工なもんで、父と二人で侃侃諤諤やりながら設計しました。このパソコン台もそうですが、そりゃもう「ののしり合いながら」作りました。

朝の6時から夜中までかかりましたよ。でも、出来上がってみると二人でしみじみ「できたねー」なんて・・・

ナミねえ 家族や身近な所にそういう器用な人が居るとするのは、自立のための自助具を必要とする場合、すごく大きな事ですね。

この室内全体の配置なんかも、内山さんご自身で考えられたんですか？

内山氏 退院して自宅に帰る時に、主治医とOT（作業療法士）の方と一緒に考えました。

うめ吉 すごくコンパクトにまとまっていますね。

内山氏 でも狭いから、結局これ以外の配置は考えられないってなもんですけどね。

ナミねえ 壁にいっぱい「アニメ」みたいのが貼ってありますけど、お好きなんですか？（あ、まずい！これはうめ吉が過剰に喜ぶ質問や！！）

内山氏 子供の時からアニメが大好きだったのに、クラブ活動とかであんまり見れなかったんですよ。最近をよく見えます。ケイソン（頸髄損傷の略称）になって一番嬉しかったのは、実はテレビを思いっきり見れる事だったりして！

うめ吉 最近の「おすすめ」は何ですか？

ナミねえ （そーら来た！早く話題を転換せねば・・・）



〈真剣な対談？ 実は「アニメ談議」（左、内山氏）

内山氏 「セーラームーン」ですね。それと「みかん絵日記」、猫が喋るやつね。

うめ吉 自分で描いたりもするんですか？

内山氏 僕は全くダメ。ただ兄貴が得意で・・・その「バルタン星人」も兄貴が描いたんですけどね、でもよく見て下さいよ。あれは「バルタン星人ジュニア」です。「見ろ！ハサミの大きさが違う！！」（爆笑）

うめ吉 「ヤマト」なんかも見てました？

内山氏 裏番組の「ハイジ」が見たかったのに、親父が「あ、ヤマトの番組がある、見ろっ」とかって・・・見てみるとアニメだったんで、驚いてましたけどね。

うめ吉 「宮崎駿と高畑勲」の名コンビで、視聴率30%という大ヒットでしたね、「ハイジ」は・・・30%を争ったアニメは「ハイジ」と「さざえさん」ぐらいやった・・・

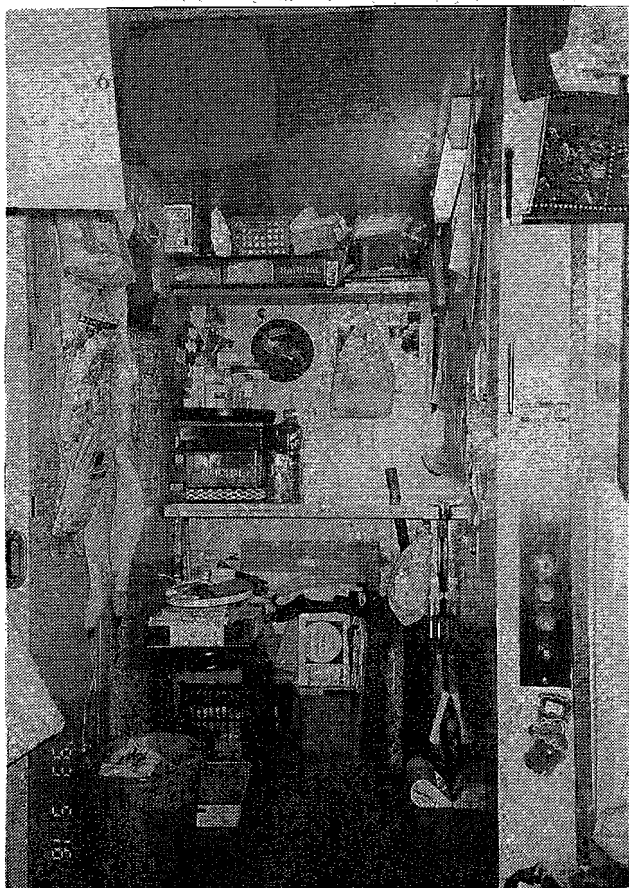
ナミねえ （それがどーしたんや！ハイジの話しに東京まで来たんちゃうやろ！！）

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
ナミねえの叫びも虚しく、この後録音テープには延々と「アニメ談義」が入っているのでありますが、当原稿の主旨からはずれるため割愛させていただきます。ご希望の方は、某NETの「アニメの部屋」を通じてお申し込み下さい。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ナミねえ えーと、ネットワーク・コンソーシアムについて、お聞きしたいんですが。

内山氏 まず、「ネットワーク・コンソーシアム研究会」というのが、あるんです。これは通産省にお勤めの久野（くの）さんという方と僕と、あと2名でやっていますが、そもそもは、人と人のネットワークを活用していろんな研究をしよう、という事で始めたんです。でも僕が居るので自然に研究課題が福祉機器の方面になっていって・・・それなら開発まで手掛けてみよう。開発するんなら、実用新案や特許申請のために会社も作っておこう、ということになって、有限会社ネットワーク・コンソーシアムを設立したわけです。会社の方は久野さんが（公務員なので）入れなくて、後の3人でやってます。取締役が3人、そのうち1人が代表取締役、そして平社員は1人も居なくて全員無給、という会社ですよ。（^\_^;;）



〈狭いスペースを有効に。  
エレベーター内も棚付き！〉

うめ吉 代表取締役社長、というのが内山さんの肩書ですね。

内山氏 定款上です。でも会社運営上の全ての責任は設立時の代表者にある---という事なので、自分になるのにためらいはあったんですけどね。一応、そういう事に落ち着きました。

ナミねえ 今、何か開発に取り組んでおられますか？

内山氏 エアマット用のシーツの開発研究をしています。

うめ吉 開発のポイントはどんなところですか？

内山氏 褥そう予防のため、しわになりにくく、吸湿性と放湿性が高く、介護する人の事も考えたものを、と思っています。現在市販されている物は、マット全体をくるむ形態で、2人介護を前提に作られているんですが、1人で簡単に着脱できるものが欲しいですね。

ナミねえ 研究会のメンバー以外に、周辺の協力者はかなりおられるのですか？

内山氏 リハビリの専門家も居ますし、特にシーツに関しては被服の専門家のアドバイスを戴いています。試作してみないといけませんからね。

うめ吉 良いものが出来るといいですね。

ナミねえ プロップ・ステーションでは、プロップNETというパソコン通信のホスト局を設置して、一般会員の皆さんには見えないCUGで会の運営のための話合いや、機関誌編集のため原稿のやりとり、校正、編集会議なんかをやっているんですが、内山さんもメンバーの皆さんと通信で打ち合わせとかされますか？

内山氏 クラブ日誌風に、皆で回し読みする文章のやりとりに使ってます。

ナミねえ そう言えば、つい最近内山さんもプロップNETに入って下さいましたね。ありがとうございます。内山さんにとってパソコン通信は、情報収集の手段ですか？

内山氏 いえいえ、僕にとっては情報提供の手段ですよ。情報は提供すると必ずまた別の形で戻って来る。ふくれて返って来ますからね。